

令和8年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業採択事業一覧

市民団体枠

No	地区	新規・継続	団体名	事業名	事業概要
1	柏野	継続 (2年目)	柏野青年会	「あの響きを忘れない！」 ～虫送り太鼓を通じた地域活性化事業～	柏野地区は人口減少・高齢化及び若者の地元離れが進む中で、子どもたちへの虫送り太鼓の継承及び披露の機会を通じて、地域への愛着を深めるとともに、地域を活性化させ、若者の定住・移住を図る。
2	笠間	継続 (2年目)	ママケアOne up～きまっし白山～	みんなでつながるOne upの日	出産後、産後うつや体力低下など、育児に追われている母親たちが心身の不調にならないように、運動やセルフケア講座を開催する。また、母親同士だけでなく地域の方々と交流する機会も設けることで孤立せず助け合えるような地域の活性化を図る。
3	中奥	新規	中奥自主防災組織	中奥地区・自主防災計画計画書作成プロジェクト	中奥地区で想定される災害や、耐震性が高い住宅が多く存在する地域特性を踏まえた千代野オリジナルの防災計画を地域住民と策定し、各町内会への周知や災害対応指導を行い、災害に強いまちづくりを推進する。
4	林中	継続 (2年目)	林中まちづくり委員会	林くん・中ちゃんの林中お散歩	林中地区を散歩してもらうことで知らない林中を再発見してもらう。昨年度は地区の小学生からの公募でイメージキャラクターの「林くん中ちゃん」が採択されこれから地域への周知を進める。本年は昨年のスランブラリーをさらに充実させ、地区内の商店やコミセン事業の体験など林中地区を知ってもらう活動を進め、地域の活性化を図る。
5	郷	新規	東大寺領横江荘 荘園まつり実行委員会	未来伝承プロジェクト 絵本で語る「横江荘物語」	横江町にある「東大寺領横江荘遺跡」について、横江荘の発足から衰退までの歴史と遺跡としての発見から史跡公園が整備される未来までの姿を分かりやすく絵本で紹介することにより、稲作を中心とした今日まで連続と続いている郷土の歴史を知り、文化の伝承を図ります。
6	湊	継続 (2年目)	湊自主防災会	「湊地区防災計画策定の推進事業」	能登半島地震時に避難時にパニックとなってしまった避難所があった反省も踏まえ、昨年令和7年度から3年間で「湊地区防災計画」を作成する。令和8年度は地区防災計画に必要な勉強会を開催するとともに、8月に住民参加型の避難研修を開催しより実践的な課題を確認する。また、9月に防災フェスタを開催し地区防災計画策定までの進捗の事業の成果を発表する。
7	一ノ宮	継続 (2年目)	獅子吼高原再生プロジェクト	令和8年度獅子吼高原再生プロジェクト	本市の代表的なジオサイトでもある獅子吼高原の再生に向けて、地元住民有志がプロジェクトを立ち上げ、「高原のカフェ」のブックカフェ化や、ジオパークや鶴来の地域産業と連携したワークショップに取り組み、獅子吼高原の活性化を図る。

地域コミュニティ組織枠

No	地区	新規・継続	団体名	事業名	事業概要
8	美川	継続 (3年目)	美川まちづくり協議会	観光ガイドマップさあ見つけよう ～北前船文化と世界ジオパークに出会う美川旅～	美川地域の文化資源である「北前船」に係る歴史や見どころを紹介する観光ガイドマップを作成する。また、令和6年度7年度に作成した「美川おかえり祭り」西ルートマップ及び東ルートマップと合わせて、こども観光ガイドの育成や、美川小の総合学習における伝統文化の資料として活用し、地域活性化を図る。
9	館畑	継続 (2年目)	たちはたコミュニティ協議会	飛び出し事故0(ゼロ)を目指す めぐりん&あみ こども見守り隊	地区のイメージキャラクターで浸透している「めぐりん・あみちゃん」を飛び出し注意喚起の看板に使用し、住民の交通安全意識向上を図る。昨年実施した「たつはたみて歩き」で参加者とチェックした危険箇所さらに注意喚起の看板を配置する。年間を通して各小学校や幼稚園等で交通安全教室を開催する際に飛び出し君を貸出し、普及に努める。